

# 音楽プロジェクト 「あなたも街の音楽家（仮）」

川崎市市制100周年記念事業・  
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局

COLORS, FUTURE! ACTIONS  
KAWASAKI 100th



# プロジェクトの概要



## ● 目的

市制100周年記念事業を契機として、みぞのくち周辺の地域コミュニティの活性化を目指す機運の高まりを受け、「音楽を通じた地域や世代を超えたコミュニティ」を生み出し、多彩な文化・芸術活動の場を通じてできた「人のつながり」により、川崎らしさを取り入れた活力とうるおいのある地域社会づくりを目指す。

## ● 実行委員会主催事業として実施する狙い

- 既存の地域コミュニティや音楽大学等と連携しながら、この取組の継続的な実施と他の地域への展開を進めることで、令和6年に20周年をむかえる「音楽のまち・かわさき」の活動を加速させる。
- 溝口駅前キラリデッキにオープンスペースを設けて、コミュニティの形成による地域社会の活性化とプロ・アマ問わず活動できる場の提供により、音楽や文化芸術が街と調和するモデルケースの創出にチャレンジする。

### 〔音楽のまち・かわさきの目的〕

市制80周年の平成16年4月18日、市民団体「音楽のまち・かわさき」推進協議会を発足し、音楽を中心とした多様な市民の多彩な文化、芸術活動の創造を通じた、活力とうるおいのある地域社会づくりを目指す。

#### 基本方針

- (1) 基盤づくり  
市内に点在する、独自の活動を展開している、質の高い音楽人材・団体・施設の連携を進めることで「音楽のまちづくり」の基盤を形成、整備します。
- (2) 産業振興  
音楽活動を行いやすい環境を整備し、各種の音楽関連産業の振興を進め、市内経済の活性化に貢献します。
- (3) 裾野拡大  
基盤づくり、産業振興を通じて音楽に関わる人の裾野拡大を進めます。
- (4) 戦略的情報発信  
市内を中心に身近な音楽関連情報を発信するとともに、首都圏に向けて「音楽のまち・かわさき」を幅広くアピールします。

# プロジェクトの概要

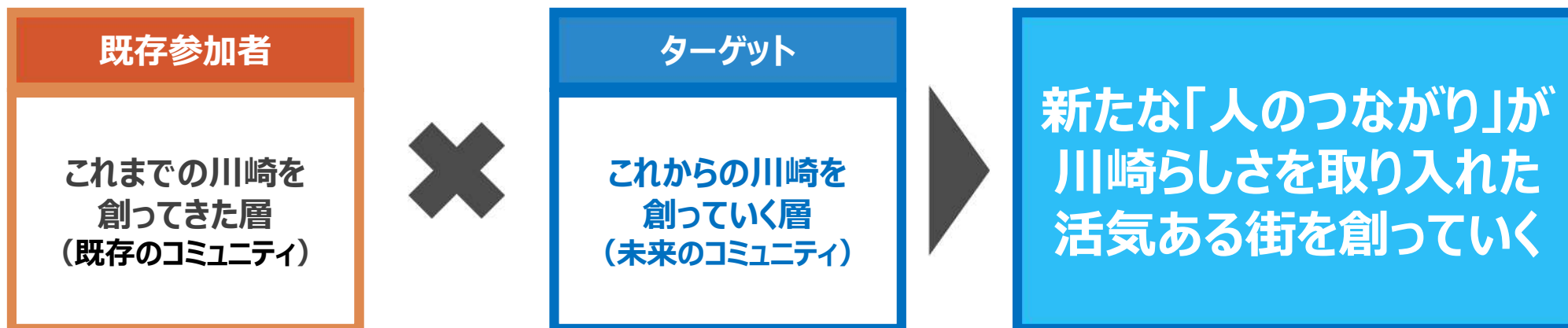


## ● 取組概要

- 令和5年度から、令和6年度の実施を見据え、地元の企業・団体の協力を募りながら、企画内容の検討や収支計画書の作成、道路占用許可といった関係機関への申請手続を進めます。
- 令和6年度は、「みんなの川崎祭」や「Colors,Future!Summit」、「脱炭素プロジェクト」など他の実行委員会主催事業に参加して、お互いのイベントを盛り上げながら、11月に洗足音楽大学や地元企業・町内会等と連携して、**溝口駅前キラリデッキに音楽やダンスなど「見て・感じて・楽しめる」憩いと賑わいを創出する新たなイベントを実施**します。
- 令和7年度以降、レガシーとして、**溝口駅前キラリデッキでのイベントを管理・運営する協議会等を組織して、活動を継続**しながら、各区に展開することで、それぞれの地域の特徴が取り入れられたコミュニティを生み出し、市民にとっての『住み続けたい街』になっていくことを目指します。

### ➤ 本事業におけるターゲット

これまでの川崎を創ってきた層（既存のコミュニティ）の考えを取り入れながら、これまで関わっていない新たな層をターゲットに設定する事業を設計することで、本事業が両者の交わるクロスポイントとなり、そこで生まれたつながりが川崎らしさのある活気ある街を創っていく。

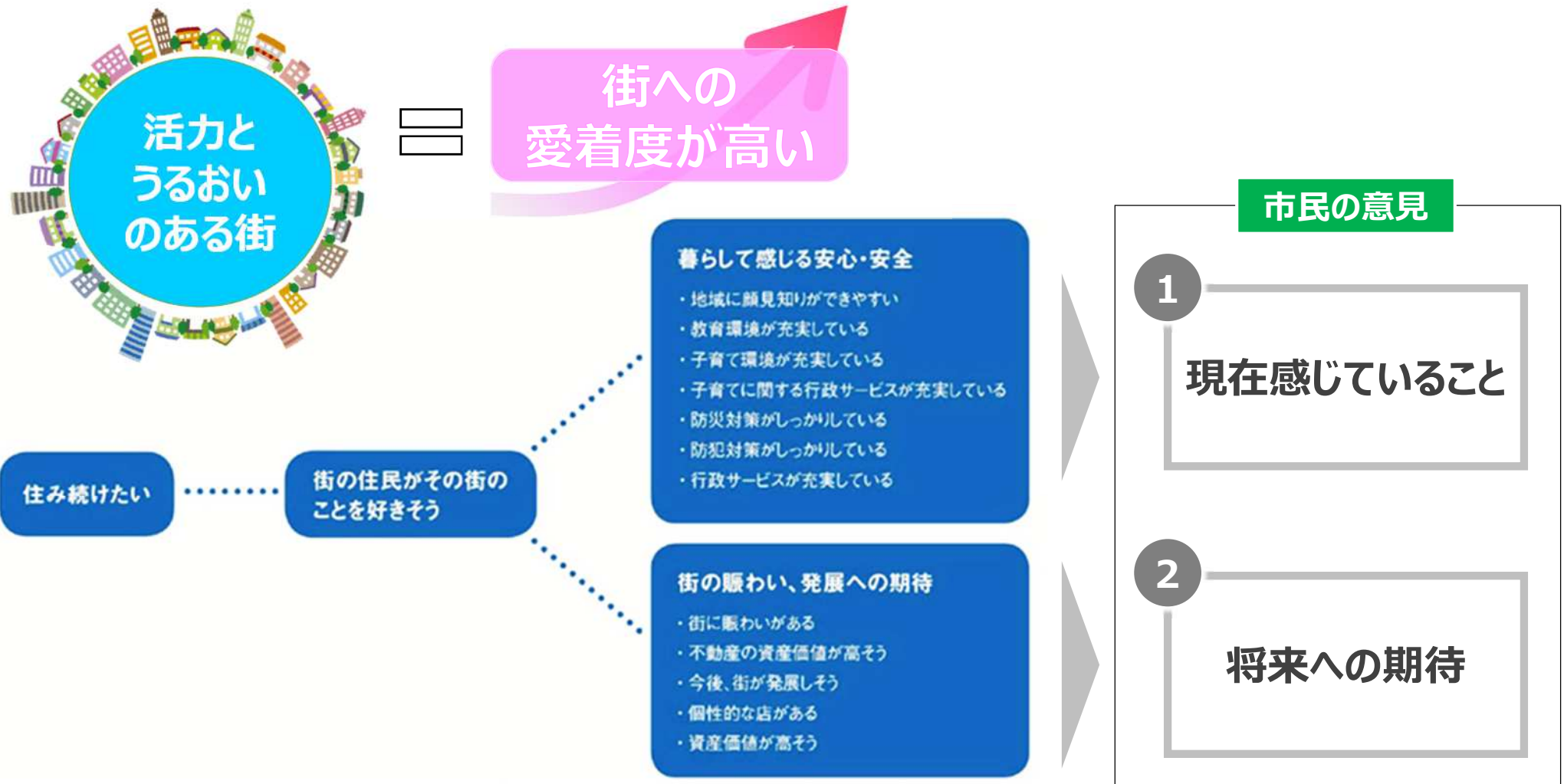


# 音楽プロジェクトを提案する背景 「音楽のまち・かわさき」の加速化



## ● 「活力とuringおいのある地域社会づくり」の加速化する

「活力とuringおいのある街」とは、市民の「街への愛着度の高さ」と考えることができ、この「街への愛着度」とは、言い換えれば「住み続けたい街」であり、「住み続けたい街」を作るとするのは、市民が①現在感じていることと②将来への期待が満たされることで生まれると考えられる。



# 音楽プロジェクトを提案する背景 「住み続けたい街」にするためには



## ● 市民アンケート調査の結果分析 (引用元：令和4年度かわさき市民アンケート) 「現在感じていること」

川崎市民 (n=2,800)		
1	便利	49.0%
2	産業が盛ん	36.6%
3	ごちゃごちゃしている	32.3%
4	活気がある	31.4%
5	治安が悪い	28.8%

全世代を通じて「便利」や「活気がある」と感じているが、それに対して「治安が悪い」や「ごちゃごちゃしている」というネガティブ要素も目立つ。

	15～19歳 (n=132)		20～29歳 (n=425)		30～39歳 (n=449)		40～49歳 (n=503)	
1	治安が悪い	53.4%	便利	47.7%	便利	49.9%	便利	44.2%
2	便利	44.6%	治安が悪い	44.7%	治安が悪い	37.1%	産業が盛ん	33.2%
3	ごちゃごちゃしている	43.3%	ごちゃごちゃしている	35.8%	ごちゃごちゃしている	34.6%	ごちゃごちゃしている	31.7%
4	騒々しい	36.2%	騒々しい	34.4%	活気がある	31.3%	治安が悪い	31.6%
5	活気がある	26.6%	産業が盛ん	29.0%	産業が盛ん	30.6%	活気がある	27.8%

	50～59歳 (n=482)		60～69歳 (n=305)		70歳以上 (n=505)	
1	便利	47.7%	便利	52.4%	便利	54.6%
2	産業が盛ん	38.4%	産業が盛ん	48.6%	産業が盛ん	46.0%
3	ごちゃごちゃしている	30.1%	活気がある	35.5%	活気がある	41.0%
4	活気がある	27.0%	ごちゃごちゃしている	34.3%	多様性がある	40.8%
5	治安が悪い	24.8%	多様性がある	34.1%	ごちゃごちゃしている	25.7%

# 音楽プロジェクトを提案する背景 「住み続けたい街」にするためには



## ● 市民アンケート調査の結果分析 (引用元：令和4年度かわさき市民アンケート) 「将来期待していること」

川崎市民 (n=2,800)		
1	便利	50.2%
2	治安がよい	40.9%
3	活気がある	37.9%
4	産業が盛ん	33.2%
5	自然が豊か	28.5%

全世代通じて「便利」はキープしてほしいと思っており、将来的には「活気」は保ちつつ、「治安」が良くなってほしいと願っている。

	15～19歳 (n=132)		20～29歳 (n=425)		30～39歳 (n=449)		40～49歳 (n=503)	
1	便利	45.1%	便利	47.9%	便利	47.5%	便利	48.2%
2	治安がよい	43.7%	治安がよい	40.4%	治安がよい	39.4%	治安がよい	34.0%
3	活気がある	43.0%	活気がある	33.9%	活気がある	32.3%	活気がある	32.2%
4	多様性がある	32.2%	子どもが多い	28.4%	自然が豊か	27.6%	産業が盛ん	29.2%
5	楽しい	27.9%	楽しい	28.3%	産業が盛ん	26.7%	自然が豊か	22.7%

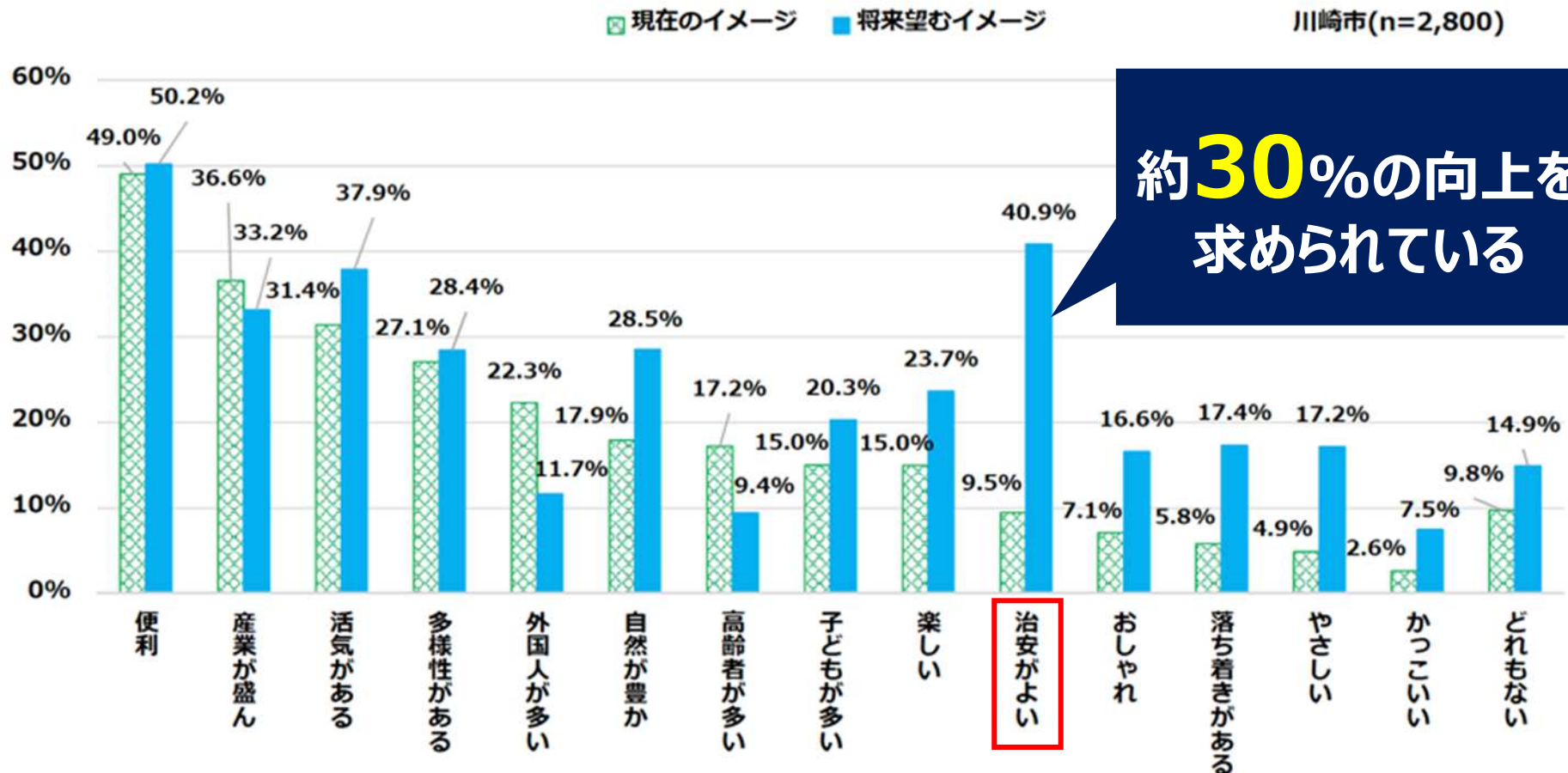
	50～59歳 (n=482)		60～69歳 (n=305)		70歳以上 (n=505)	
1	便利	49.3%	便利	52.4%	便利	57.5%
2	治安がよい	40.2%	治安がよい	44.8%	産業が盛ん	50.5%
3	活気がある	36.4%	活気がある	44.1%	活気がある	48.1%
4	産業が盛ん	30.7%	産業が盛ん	41.9%	治安がよい	46.9%
5	自然が豊か	26.7%	多様性がある	37.0%	多様性がある	42.3%

# 音楽プロジェクトを提案する背景 「住み続けたい街」にするためには



## ● 市民アンケート調査の結果分析 (引用元：令和4年度かわさき市民アンケート)

治安向上は現在と将来のイメージ調査比較でも、圧倒的な数値で求められていることがわかる。



# 音楽プロジェクトを提案する背景 「住み続けたい街」にするためには



多くの自治体において、「治安」の中でも「体感治安」の向上に課題を抱えている。  
事例として、「治安イメージが低い地区」と「好事例として紹介された」2事例を紹介

東京都足立区竹の塚（治安イメージが低い地区例）

千葉県市川市（好事例）

## 地域の活動と、交流を通じて 体感治安を上げる

### 2 取組みの方向性

#### 方向性1 ビューティフルウィンドウズ運動の強化!!

竹の塚エリアの体感治安を大きく下げている要因に対して、個別具体的な取組みを進めます。

- (1) **防犯** … 青色バトカーの巡回、防犯カメラ設置 など
- (2) **ごみ** … 道路や公園のごみの清掃 など
- (3) **自転車** … 路上駐輪対策、自転車運転マナー改善 など

#### 方向性2 プラスイメージの創出!!

若い人や居住年数の短い人が地域と交流し、緩やかなつながりをつくりながら、地域に根差した活動に参加できる場づくりを進めます。

- (1) **道路・公園等の公共空間の活用**
- (2) **高架下空間の活用**

## 行政と地区団体が連携し 体感治安を上げる

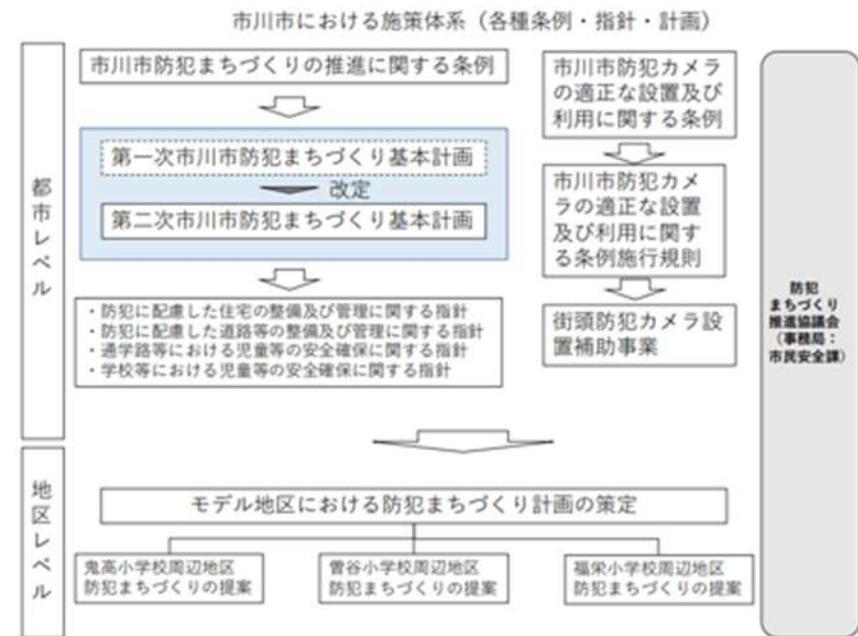


図 曾谷小学校周辺地区防犯まちづくり計画の位置づけ

※出典：竹の塚エリアデザイン

※出典：国土交通省 防犯まちづくり取組事例集



# 音楽プロジェクトを提案する背景 「住み続けたい街」にするためには



双方に共通していることは、体感治安の向上は、行政のみの取り組みでは解決が難しく、地域住民や地区団体との協働により達成できる課題と認識できる

東京都足立区竹の塚（治安イメージが低い地区例）

千葉県市川市（好事例）

地域の活動と交流を通じた  
体感治安の向上

行政と地域の連携による  
体感治安の向上

## 2 取組みの方向性

方向性1 ビューティフルウィンドウズ運動の強化!!

行政がきっかけをつくり、そのきっかけで生まれた  
**地域の輪=コミュニティ**が  
体感治安を上げている

# 音楽プロジェクトを提案する背景 「住み続けたい街」にするためには

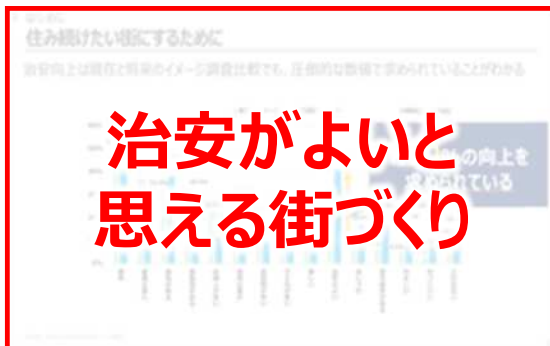
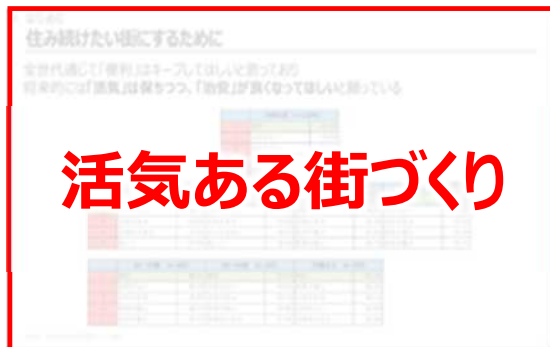


市民が「住み続けたい街」とするには、「活気」と「治安向上」が不可欠であるため、  
これらを『コミュニティ』の力で実現を目指す

『住み続けたい街』に必要な要素

Action

結果



コミュニティが生む  
好循環

治安向上

コミュニティ

活気

# 音楽プロジェクトを提案する背景 「文化・芸術活動の現状」

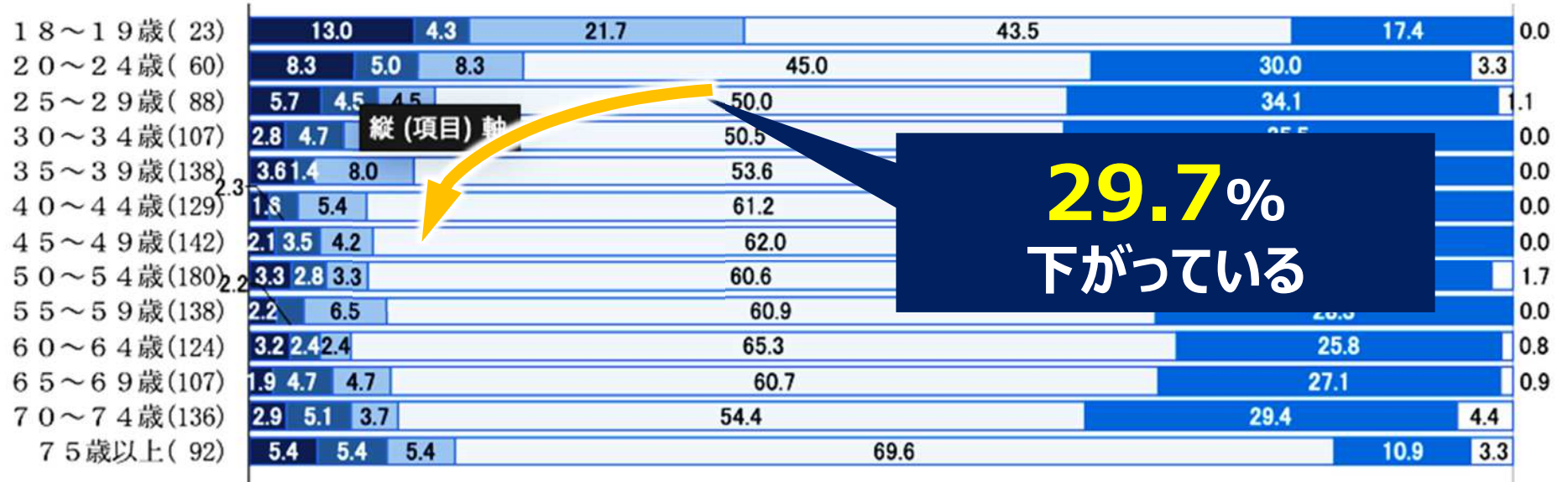


市民アンケートから、**全体65~80%**の人が文化・芸術活動を行うことに関心があることが分かる。

- 頻繁（週1回以上）に活動している
- 定期的（月1回以上）に活動している
- 少なくとも1回は活動したことがある
- 関心はあるが、活動したことはない
- 関心もないし、活動したこともない
- 無回答

問)

あなたの文化・芸術活動（音楽、舞踊、演劇、美術、伝統芸能、文学、華道、茶道、書道など）についてお伺いします。  
あなたは、この1年間に、鑑賞を除いて、自分で創作・実践したり、文化芸術体験を支援する文化ボランティアの活動に参加したりするなど、文化芸術に関わる活動をしたことはありますか。



**29.7%**  
下がっている

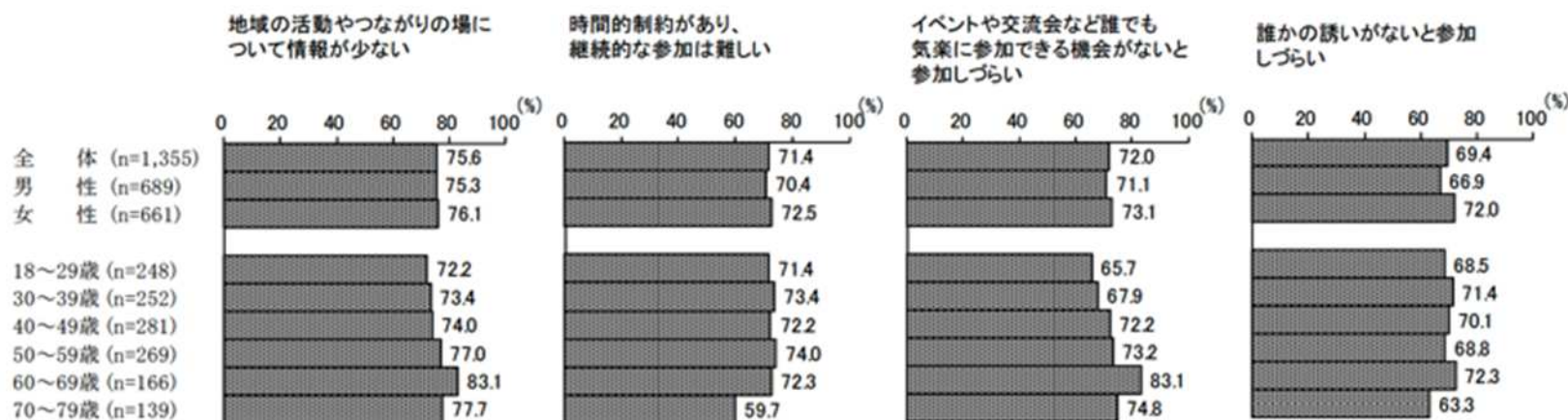
市民アンケート調査]

- ◆ 興味があって活動も行っている割合は18～19歳をピークに、**年齢が上がるほど数値が下がっている**ことがわかる。
- ◆ しかし、関心度割合は大きく下がらないことから、**活動の場に参加したくなる仕掛け**を行うことで、コミュニティが生まれると思われる。

# 音楽プロジェクトを提案する背景 「文化・芸術活動の現状」



そもそも参加意思がない人を参加させることはハードルが高いが、30歳未満は別の形で活動の場に  
参加している割合が高い層であるため、まずは30歳以上（50～59歳は検討）をターゲットにして、  
活動したくなる仕掛けを検討する必要がある。



**参加のハードルと  
感じていること**

**あったらいいな**

**気付いたら  
そこに空間がある**

**いつでも  
オープンな空間**

**上手、下手  
関係ない空間**

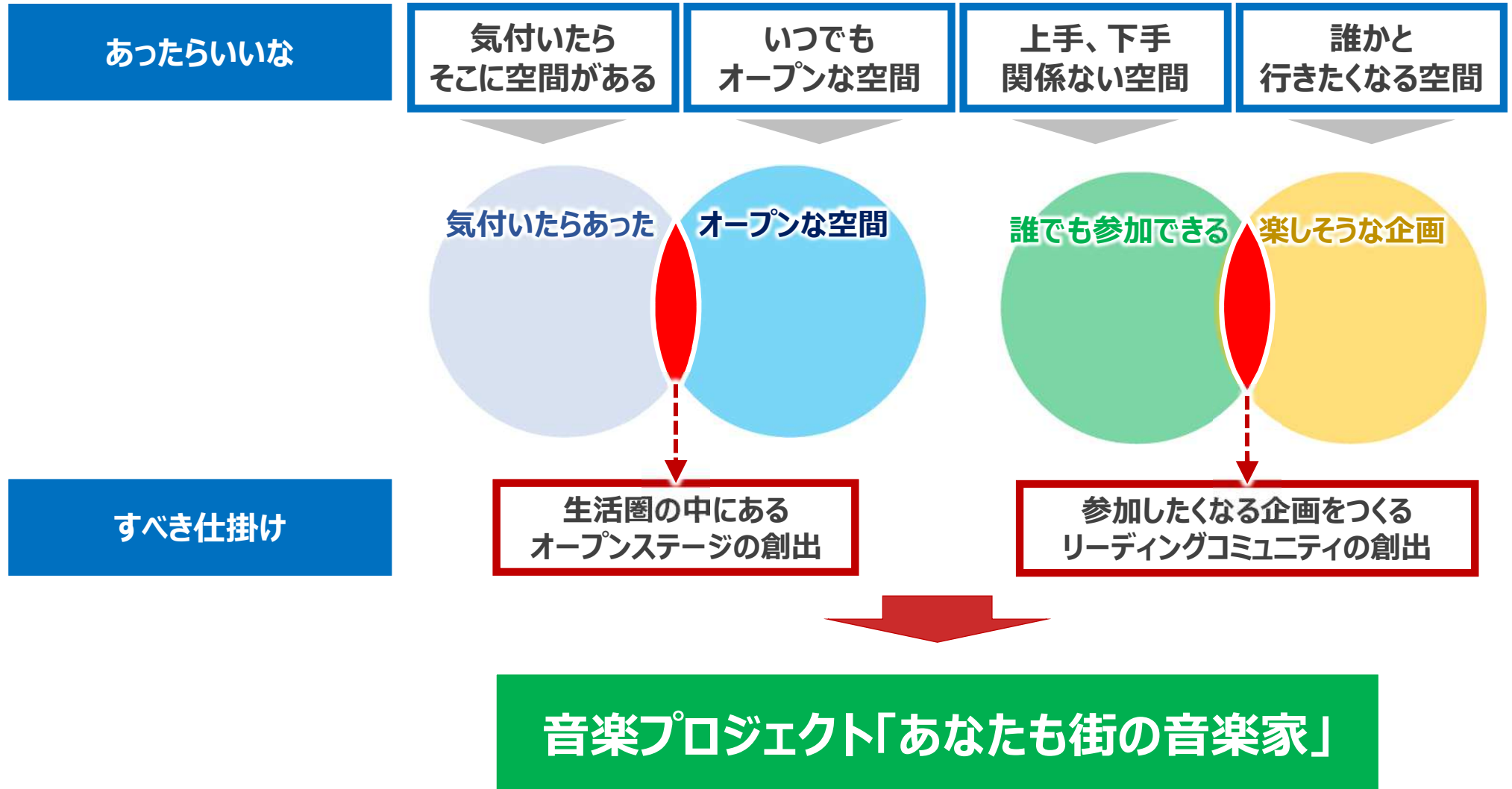
**誰かと  
行きたくなる空間**

※出典：令和4(2022)年度かわさき市民アンケート

# 活動したくなる仕掛け



市民の「あったら活動したい」ということを分析した結果、  
**「物理的な身近な空間の創出」と「参加したくなる空間の創出」**の  
2つの課題をクリアする必要があると分かる





## キラリデッキでの音楽ライブ

日程	令和6年9月以降 (メインイベントは11月頃開催予定)	場所	高津区溝口駅前キラリデッキ
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>① 音楽を身近に感じてもらい、演者にも観る側にも「音楽のまち・かわさき」への意識を共有する。</li><li>② イベントに出演する喜びとワクワクを体感すると同時に、出演することに対する責任を感じてもらう。</li><li>③ 演者を育てるコミュニティ、世代間を超えたコミュニケーションの場を作る。</li></ul>	ターゲット	川崎市民 特に子ども世代、その母・父親 仕事をリタイアした高齢者層など。

キラリデッキでの音楽ライブ（ハレの日）で市民の心をつかみ、  
平日の普段の日（ケの日）でも、地元で愛される憩いの空間にする。